

和歌山県

地域医療支援センター

C M S C

COMMUNITY MEDICAL SUPPORT CENTER

www.cmssc.jp/



令和6年度

活動報告書

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

CONTENTS

はじめに	1
業務内容	2
年間スケジュール	3
医師不足状況等の把握・分析	7
▶ 和歌山地域医療マネジメント研究会	
医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援 ...	8
▶ 地域医療枠・県民医療枠医師配置	
▶ 地域医療学講座・医師配置	
▶ 地域医療機関医師適正配置検討委員会	
▶ 遠隔医療支援システム	
▶ 遠隔外来	
▶ 遠隔救急支援システム	
医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成	12
▶ AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会	
▶ 新研修医説明会・新入生説明会	
▶ 地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修	
▶ JMECC (内科救急・ICLS) 講習会	
▶ 地域医療従事者(地域枠医師) 知事感謝状贈呈式	
▶ 和歌山県知事、副知事との懇談会	
▶ 夏季病院等実習(地域医療枠、県民医療枠 B・C)	
▶ 夏季病院見学(県民医療枠)	
▶ 夏季実習報告会・交流会の実施	
▶ 地域医療枠及び県民医療枠 1、6 年生面談	
▶ キャリア形成計画(ヒアリング)	
▶ メンター制度の運営	
▶ プライマリ・ケアセミナー等の開催	
▶ エコセミナーの開催	
▶ 勉強会「WING」の開催	
▶ 紀伊半島地域医療連絡協議会	
▶ 医師臨床研修指導医講習会の開催	
▶ 和歌山県立医科大学専門研修プログラムの周知	
▶ スキルラボの充実	
情報発信と相談への対応	20
▶ オープンキャンパス	
▶ 地域医療学等に係る講義及びグループワークの実施	
▶ 報告書等の作成	
▶ ホームページ・Facebook の運用	

はじめに

平素より当センターの活動および地域枠制度に、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、2025年4月より上野雅巳先生の後任として、センター長を拝命いたしました。2021年7月より副センター長として当センターの業務に携わってまいりましたが、上野先生の志を引き継ぎ、地域医療のさらなる充実に尽力してまいり所存です。引き続き、皆様の温かいご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

当センターは、2011年4月に和歌山県からの委託を受け、和歌山県立医科大学内に設置されました。以来、県内における医師の地域偏在および診療科偏在の是正を目的に、地域医療の維持・発展に向けた多様な取り組みを推進してまいりました。2024年度末時点で、へき地医療拠点病院を中心とした医療を担う「地域医療枠医師」および地域中核病院での医療を担う「県民医療枠医師」の3期生までが卒後9年間の義務年限を終了しました。現在では県内24の医療機関に127名の地域枠医師が配置されており、地域医療現場において極めて重要な役割を担っています。その意義は、今後さらに高まっていくものと考えられます。

一方で、公的病院における指導医の確保や、医師が不足する診療科への対応、病院機能の再編、さらにはへき地診療所への適正な医師配置のあり方など、解決すべき課題は少なくありません。今後はさらに進行する高齢化・過疎化を背景に、地域医療を取り巻く環境が大きく変化することが予想され、将来を見据えた柔軟かつ実効性のある対応が求められています。

当センターでは、卒前・卒後にわたるキャリア支援および教育を、重要な役割の一つと位置づけております。医学生の間から地域医療への関心と志を育み、卒業後も地域の現場で継続的に成長していけるよう、学内の関係部署はもとより、自治体や医療機関と密接に連携し、持続可能な支援・教育体制の構築に取り組んでまいります。

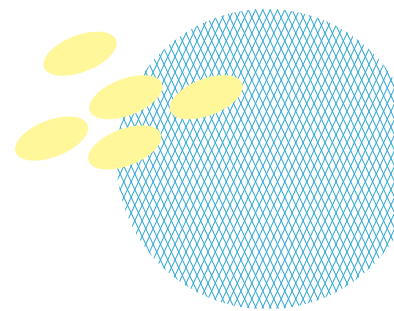
また、ICTを活用した遠隔医療の推進も、地域医療を支える重要な柱と捉えています。従来の遠隔外来や遠隔救急支援に加え、今後は遠隔集中治療の導入を新たな柱として位置づけ、医療資源の限られた地域においても、質の高い医療を安定的に提供できる体制づくりを進めてまいります。

今後も「地域医療体制堅持を基盤とした県民の皆様への安定した医療の提供」をミッションとして、センター一同、より一層の努力を重ねてまいります。引き続き、皆様方のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



和歌山県立医科大学 地域医療支援センター
センター長・教授 蒸 野 寿 紀

業務内容



医師不足状況等の把握・分析

- 和歌山地域医療マネジメント研究会の開催

医師不足医療機関の支援、緊急時医師派遣・若手医師支援（地域医療学講座）

- 若手医師が勤務する医師不足医療機関への指導医派遣
- 医師不足医療機関への支援（緊急的診療応援）
- 地域医療機関医師適正配置検討委員会の運営
- 遠隔医療支援システムの運用
- 遠隔医療の推進

医師のキャリア形成支援・地域医療従事医師の養成

- AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠、自治医大卒業新研修医説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠新入生説明会の開催
- 地域医療枠、県民医療枠学生対象学会早期体験研修の実施
- JMECC（内科救急・ICLS）講習会の開催
- 地域医療従事者（地域枠医師）知事感謝状贈呈式への参加
- 和歌山県知事、副知事との懇談会の実施
- 夏季実習等
地域医療枠、県民医療枠 B・C 学生：県内へき地医療拠点病院や保健所等での実習を実施
県民医療枠学生：県内公的医療機関見学を実施
夏季実習報告会・交流会の実施
- 地域医療枠、県民医療枠 1、6 年生面談の実施
- 地域医療枠、県民医療枠、近大和歌山県地域枠医師対象ヒアリングの実施及びキャリア形成計画の作成
- メンター制度の運営
- プライマリ・ケアセミナー等の開催
- エコーセミナーの開催
- 勉強会「WING」の開催
- 三重大学、奈良県立医科大学合同による紀伊半島地域医療連絡協議会の運営・参加
- 医師臨床研修指導医講習会の開催
- 和歌山県立医科大学専門研修プログラムの周知
- スキルスラボの充実

情報発信と相談への対応

- 医学部オープンキャンパスでの地域医療に対する情報発信の実施
- 地域医療学等に係る講義及びグループワークの実施
- 地域医療支援センターパンフレット等の作成
- ホームページ、Facebook の運用

年間スケジュール

4
APRIL

● AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会



● 新研修医説明会



● 新入生説明会



5
MAY

● 第Ⅰ回エコーセミナー



6
JUNE

● 第Ⅰ回 JMECC（内科救急・ICLS）講習会



7
JULY

●和歌山県副知事との懇談会



●学会参加研修



●第Ⅰ回プライマリ・ケアセミナー

8
AUGUST

●夏季病院等実習
(地域医療枠、県民医療枠 B・C)



●夏季病院見学 (県民医療枠)



●夏季実習報告会・交流会



●オープンキャンパス



10
OCTOBER

● 紀伊半島地域医療連絡協議会



● 第2回プライマリ・ケアセミナー

11
NOVEMBER

● 第2回 JMECC（内科救急・ICLS）講習会

● 早期学会研修

12
DECEMBER

● 和歌山県知事との懇談会



● 医師臨床研修指導医講習会



1
JANUARY

- 第3回プライマリ・ケアセミナー

2
FEBRUARY

- 第3回 JMECC（内科救急・ICLS）講習会

3
MARCH

- 和歌山地域医療マネジメント研究会
- 地域医療従事者（地域枠医師）知事感謝状 贈呈式



医師不足状況等の把握・分析

和歌山地域医療マネジメント研究会

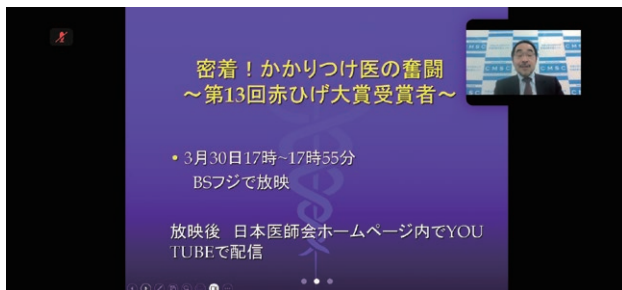
平成 25 年度から、医師や医療行政を担当する方、病院運営に携わる方など様々な職種の方々と一緒に和歌山県の地域医療に関する問題点や課題について考えることを目的として、年 1 回程度学術講演会を開催している。

令和 6 年度は、令和 7 年 3 月 19 日（水）に『令和 6 年度和歌山地域医療マネジメント研究会第 1 回学術講演会』をオンライン開催し、県内外医療機関及び行政関係者等 25 名が聴講した。

<講演内容>

演題：「すさみ町の地域包括ケア～20 年間の取り組みと成果～」

国保すさみ病院 高垣 有作 顧問



令和 6 年度和歌山地域医療マネジメント研究会 学術講演会

日 時：令和 7 年 3 月 19 日（水）18:00～19:00

開催方法：Zoom によるオンライン開催

演 題：『すさみ町の地域包括ケア～20 年間の取り組みと成果～』

講 師：国保すさみ病院 高垣 有作 顧問

参加申込方法 ※事前のお申し込みが必要です。【3/16（日）締切】

①＜スマホ・タブレット＞の場合

右記の QR コードをスマートフォンやタブレットのカメラで読み取り、申込みフォームからお申し込みください。



＜パソコン＞の場合

以下の申込みフォームに直接アクセスし、お申し込みください。

<https://forms.gle/9qiyj8AH9L1DeMw6>

②開催日前日までに、事務局より講演会専用 URL、ミーティング ID、パスワード等を記載した招待メールをご登録いただいたメールアドレスへ送信します。

③講演会当日、お時間になりましたら、講演会専用 URL 又はミーティング ID でアクセスし、ご参加ください。

主催：和歌山県地域医療支援センター（附属病院東棟 3 階）

〒641-8509 和歌山市紀三井寺 811-1 TEL：073-441-0845

医師不足医療機関の支援 緊急時医師派遣・若手医師支援

地域医療枠・県民医療枠医師配置

へき地医療拠点病院を中心に研修を行う「地域医療枠医師」、地域中核病院での研修を行う「県民医療枠医師」の配置状況は別図のとおり。

なお、今年度は地域医療枠医師及び県民医療枠医師の3期生が卒業後9年間のキャリア形成プログラムを終え、今後も県内医療機関で活躍する医師が増加する予定。

●医師配置状況

(R6.4.1時点)

保健医療圏	地域医療枠	県民医療枠	合計
和歌山(和歌山市)	—	18	18
和歌山(海南市、紀美野町)	3	4	7
那賀	1	7	8
橋本	2	10	12
有田	4	2	6
御坊	5	0	5
田辺	5	13	18
新宮	11	9	20
合計	31	63	94

●学生数(参考)

(R6.4.1時点)

区分	地域医療枠	県民医療枠	合計
医学部1年生	10	20	30
医学部2年生	10	21	31
医学部3年生	10	24	34
医学部4年生	11	18	29
医学部5年生	9	21	30
医学部6年生	10	26	36
合計	60	130	190

地域医療学講座・医師配置

和歌山県立医科大学の医師(指導医)が自治医科大学や地域医療枠等を卒業した若手医師が勤務する医師不足医療機関にローテーションで出向する仕組みを運用し、指導医は出向先である当該医療機関で勤務して地域医療の充実に貢献するとともに、同じく勤務する若手医師の指導を行った。

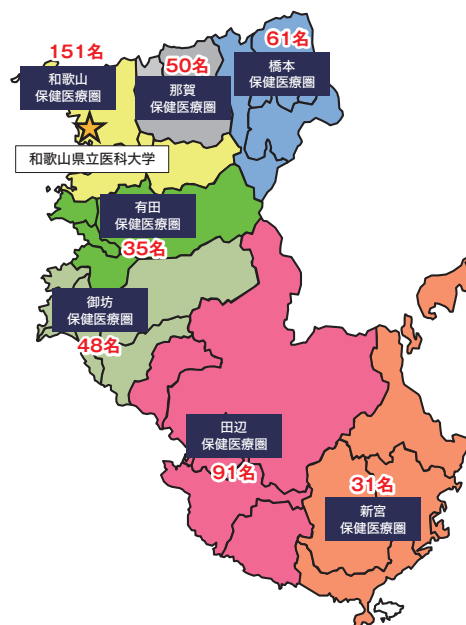
●緊急時医師派遣・若手医師支援

(地域医療学講座による指導医の配置)

公立那賀病院	1名
有田市立病院	2名
和歌山病院	1名
新宮市立医療センター	2名

●医師配置状況(令和6年4月1日現在)

県内公的病院等 467名(右図のとおり)



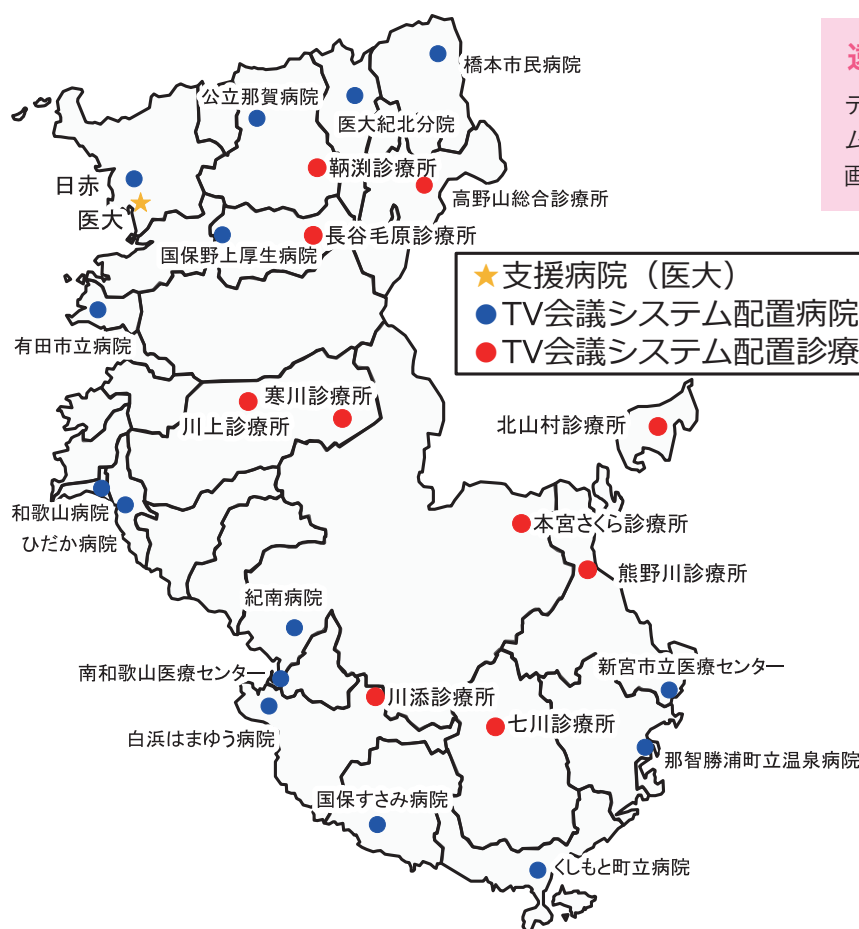
県内公的病院等への医師配置状況

地域医療機関医師適正配置検討委員会

平成 25 年から、地域医療機関からの常勤医師配置要請に対して、支援の必要性について審議する地域医療機関医師適正配置検討委員会を学内に設け、大学として一元的に対応している。令和 6 年度は 14 の医療機関から要請があり、12 の医療機関に対して必要性ありと判断し、令和 7 年度から 7 の医療機関に 15 名の医師を配置予定である。

遠隔医療支援システム

へき地診療所等に遠隔医療支援システム端末を設置し、遠隔外来支援を実施した。



遠隔医療支援システムとは？

テレビ会議システムを利用し、システム端末設置医療機関とリアルタイムで画像、音声等の情報交換が可能。

- 平成 25 年度末までに本学と県内 13 公的医療機関にシステム端末を設置
- 平成 27 年度末には、平成 28 年度から地域医療枠医師が勤務する紀南病院を含め、新たに 3 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 29 年度末には、新たに 6 医療機関にシステム端末を設置
- 平成 30 年度末には、新たに 4 医療機関にシステム端末を設置
- 令和 4 年 2 月に新システムを導入。パソコン及び周辺機器についてはリース契約、会議システムについては Webex Meeting にて運用。

遠隔外来

和歌山県立医科大学附属病院から遠い地域に住む県民が地元の医療機関で本院の専門医のアドバイスを受けることが可能となる遠隔外来を実施した。

令和6年度の実施枠は、24診療科
53専門外来及び栄養指導。

[illegible][illegible]

- システム端末設置医療機関との協定の締結や本院における実施診療科の選定等を経て、平成26年7月11日から実施している。
- 令和6年度実績（10件）

皮膚科	3件	神経精神科	3件
病態栄養治療部	3件	第2内科	1件
- 遠隔外来広報チラシ及びポスターを作成し関係者へ配付するとともに、ホームページ等を通じて周知を図った。

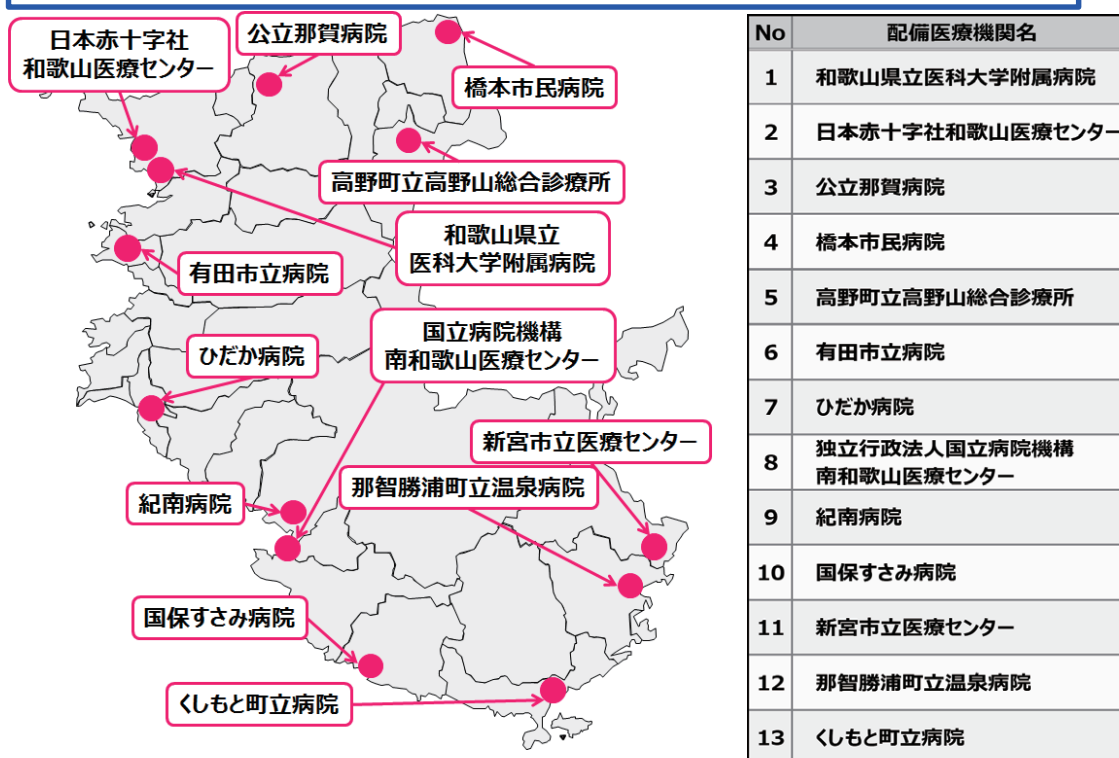


遠隔救急支援システム

遠隔救急支援システムに関しては、4診療科（循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・救急科）へ配備しているモバイル端末を活用し、県内13医療機関間で救急患者の検査画像等を正確かつ迅速に共有することで救急医療の連携強化を図っている。手術等の受入態勢及び治療開始時間の迅速化による救命率の向上や、不要不急の三次救急医療機関への転送防止による患者及び医師の負担軽減につなげている。令和6年度利用実績は、計253件であった。

遠隔救急支援システムの配置先

全国初の全県域を対象にした「遠隔救急支援システム」を構築



医師のキャリア形成支援・ 地域医療従事医師の養成

AHA-BLS ヘルスケアプロバイダーコース講習会

平成 26 年度から「和歌山研修ネットワーク」において、研修初期から患者急変時に対応できる能力の取得を目的に、県内全ての新規採用研修医を対象とする講習会を開催している。今年度は令和 6 年度当院採用者 74 名及び県内他病院採用者 35 名の計 109 名の研修医、研修歯科医を対象とし、令和 6 年 4 月 5 日（金）に対象者全員を集めて実施した。



新研修医説明会

令和 6 年 4 月 2 日（火）に地域医療枠、県民医療枠及び自治医科大学卒業の新研修医を対象に説明会を開催し、地域枠医師に求められる役割や卒後のキャリア形成について説明した。



新入生説明会

令和6年4月23日(火)に地域医療枠及び県民医療枠新入生を対象に説明会を開催し、地域医療枠及び県民医療枠に求められる役割の周知を図った。

それぞれの募集枠の趣旨を新入生に詳しく説明・再認識を促すとともに、卒前・卒後のキャリア形成支援や研修・制度等について説明した。

地域医療枠

プライマリ・ケアを実践し、高い総合的能力を有する医師及び医師研究者を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち5年間は、へき地医療拠点病院等を中心に研修を行う。

県民医療枠 A

和歌山県の地域医療に携わるとともに、医療・医学のリーダーとして活躍できる人材を育てる。

卒業後9年間のうち4年間は、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行う。

県民医療枠 B・C

和歌山県において産科、小児科及び精神科医療に貢献できる医師を育てる。

和歌山県から修学資金が貸与される募集枠で、卒業後9年間のうち5年間は、地域派遣対象医療機関にて、特定の診療科で研修を行う。

地域医療枠及び県民医療枠学生対象の学会早期体験研修

地域医療枠及び県民医療枠1～6年生の希望者を対象に学会早期体験研修を実施。令和6年7月17日(水)～19日(金)開催の第79回日本消化器外科学会総会に2名、同7月27日(土)～28日(日)開催の第16回日本ポイントオブケア超音波学会学術集会に2名、同11月23日(土)開催の第74回日本泌尿器科学会中部総会に2名が参加した。



JMECC（内科救急・ICLS）講習会

令和6年6月22日（土）、11月30日（土）及び令和7年2月2日（日）に、地域医療枠及び県民医療枠医師等の能力向上を目的とし、主に研修医2年目を対象として講習会を開催した。受講者全員（30名）が二次救命処置（ALS:Advanced Life Support）の技能を習得した。



地域医療従事者（地域枠医師）知事感謝状贈呈式

和歌山県立医科大学地域医療枠及び県民医療枠医師、自治医科大学卒業医師の計23名が、和歌山県内での勤務義務の年限を修了し、これまでの地域医療の確保と向上に尽力されたことに敬意を表し、功績をたたえるための知事による感謝状贈呈式へ参加した。

● 修了者23名

和歌山県立医科大学

地域医療枠 2名

県民医療枠 18名

自治医科大学 3名



和歌山県知事、副知事との懇談会

令和6年7月16日（火）に地域医療枠及び県民医療枠の6年生31名が本学にて、副知事及び雑賀技監と懇談した。

令和6年12月2日（月）に地域医療枠及び県民医療枠の1年生30名がホテルアバローム紀の国にて、知事及び雑賀技監と懇談した。



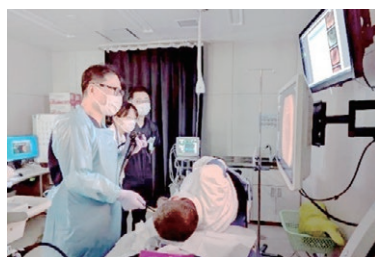
夏季病院等実習（地域医療枠、県民医療枠 B・C）

令和 6 年 7 月 18 日（木）～8 月 28 日（水）に地域医療枠 1～5 年生 45 名、県民医療枠 B・C 1～2 年生 10 名及び自治医科大学 1～5 年生 13 名が県内へき地医療拠点病院や保健所等の医療現場で実習を行い、地域医療に従事する医師の役割及び責任についての認識を深めた。



夏季病院見学（県民医療枠）

県民医療枠 4 年生 18 名が、夏期休業中に卒業後に勤務する県内公的医療機関を見学した。



夏季実習報告会・交流会の実施

令和 6 年 8 月 24 日（土）に地域医療枠等医師及び学生の実習報告会・交流会を開催、医師 11 名、学生 55 名が参加した。



地域医療枠及び県民医療枠 1、6 年生面談

令和 6 年 5、6 月に地域医療枠及び県民医療枠 1 年生に対して、地域医療枠及び県民医療枠の制度説明、卒前・卒後のキャリア形成についてのヒアリングを実施した。

同 7 月、8 月に地域医療枠及び県民医療枠 6 年生に対して、卒業後の進路に関するヒアリングを実施した。

キャリア形成計画（ヒアリング）

地域医療枠・県民医療枠・近大和歌山県地域枠学生及び医師のキャリア形成支援の一環として、県の委託を受けて面談・ヒアリングを実施した。

地域医療枠医師、 近大和歌山県地域枠医師 及び 自治医科大学医師 勤務先

- 国保野上厚生総合病院
- 橋本市民病院
- 有田市立病院
- ひだか病院
- 南和歌山医療センター
- 紀南こころの医療センター
- くしもと町立病院
- 那智勝浦町立温泉病院
- 市町村開設診療所 等
- 公立那賀病院
- 県立こころの医療センター
- 済生会有田病院
- 和歌山病院
- 紀南病院
- 国保すさみ病院
- 新宮市立医療センター
- 市町村開設へき地診療所

- 令和6年6月、7月に地域医療枠、近大和歌山県地域枠及び自治医科大学医師に対して、派遣先病院単位でのヒアリング（オンライン）を実施した。
- 同9月、10月に2年目研修医（地域医療枠、県民医療枠及び近大和歌山県地域枠）に対して卒後3年目以降のキャリア形成にかかる面談を実施した。
- 同11月、12月に地域医療枠、近大和歌山県地域枠及び自治医科大学医師に対して、次年度の勤務先についてのヒアリング及びキャリアコーディネーターによる面談を実施した。
- 令和7年1月に1年目研修医（地域医療枠、自治医科大学）に対してキャリア形成にかかる面談を実施した。
- 令和7年3月に県民医療枠医師が所属する診療科長に対して、個人毎のキャリア形成計画（卒業後3年目以降の勤務先病院）の作成を依頼・更新した。
- このほか、県民医療枠学生及び医師に関する個別事案への対応手順を定め、入学時に誓約している卒業後9年間のキャリア形成を本学及び地域中核病院で行うこと等に関して、義務の猶予等の申し出等があった場合、適切に対応できる体制を構築・運用している。

メンター制度の運営

後輩医師のキャリア形成の促進や職場環境への円滑な適応等を図るとともに、先輩医師の人材育成能力の向上等に資することを目的に、令和6年10月に県民医療枠3年生24名及び5年生21名に対して7名のメンターにて面談を実施した。

プライマリ・ケアセミナーの開催

総合的な診療能力を有する医師に必要となる知識や技能を学ぶとともに、総合診療についての理解をより深めることを目的に、プライマリ・ケアセミナーをオンライン開催。総合診療に携わる指導医、総合診療に興味のある学生及び研修医等を対象とし、第1回(令和6年7月31日(水))は22名、第2回(令和6年10月16日(水))は29名、第3回(令和7年1月29日(水))は20名が参加した。

<第1回講演内容>

演題：「地域における総合診療の実際と地域総合診療専門医研修について」

国保野上厚生総合病院 田島 幸治 先生

<第2回講演内容>

演題：「かぜ診療の『最低限』を攻める」

新宮市国民健康保険直営熊野川診療所 上野山 郁人 先生

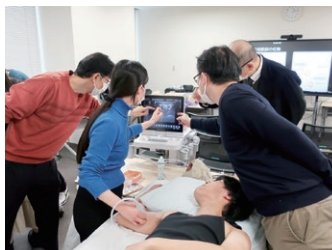
<第3回講演内容>

演題：「地域で診る肝疾患～脂肪性肝疾患を中心に～」

那智勝浦町立温泉病院 山田 裕規 先生

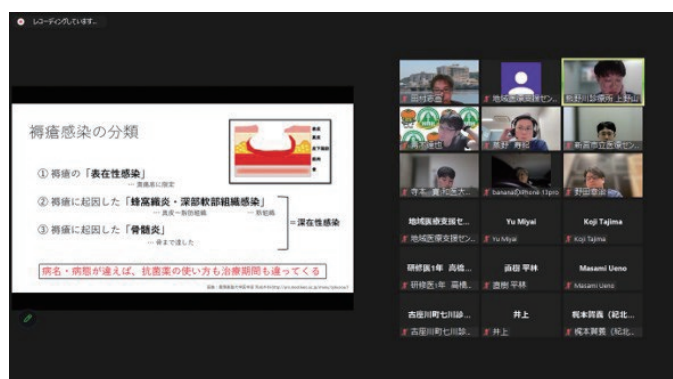
エコーセミナーの開催

地域医療枠及び県民医療枠学生を対象として、point of care 超音波(POCUS)の習得を目的に、エコーハンズオンセミナーを5回実施した。講師は紀美野町国保国吉・長谷毛原診療所 多田 明良 所長。



勉強会「WING」の開催

地域枠医師・学生を対象とした勉強会「WING」を5回オンライン開催し、地域枠医師による派遣先病院紹介や症例検討などを行った。参加人数は第1回12名、第2回18名、第3回10名、第4回13名、第5回15名。



紀伊半島地域医療連絡協議会

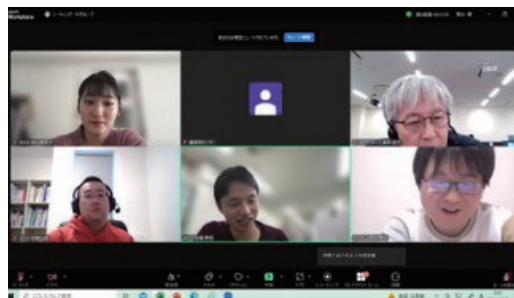
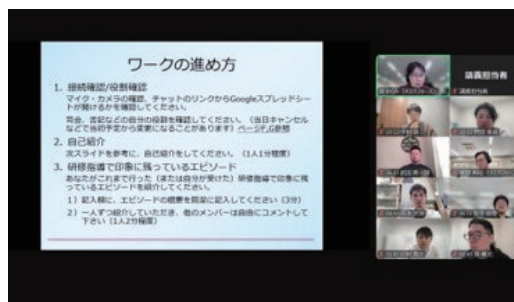
三重大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学の初期臨床研修医、教員等が一堂に会し、紀伊半島の地域医療、特にへき地医療について協議することにより、連携体制を構築するとともに、地域医療に貢献する医療人を育成することを目的として毎年輪番制で開催している。

令和6年度については10月5日(土)に奈良県立医科大学主催で「令和6年度紀伊半島地域医療連絡協議会」を奈良県奈良市にて開催され、教職員7名及び研修医5名が参加した。教職員はコーディネーター会議(議題:大学:とうとう始まった働き方改革!臨床研修や地域医療への影響は?、県:広域連携プログラム 各県での取り組みについて)で発表及び意見交換、研修医はグループワーク(テーマ:とうとう始まった働き方改革!臨床研修医はどう感じている?)を行った。



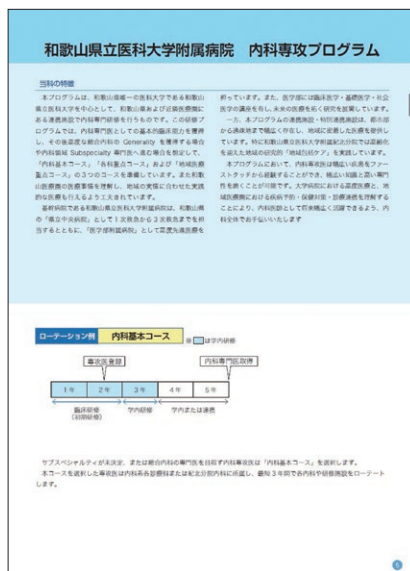
医師臨床研修指導医講習会の開催

令和6年12月7日(土)及び8日(日)に本院の主催により、指導医講習会をオンラインで開催した。レクチャー・演習に加え、グループ作業や共有を行い、講習会前後の自己学習も含め、計16時間40分の講習を実施し、合計48名に修了証書を交付した。



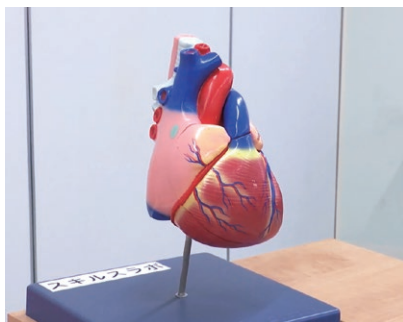
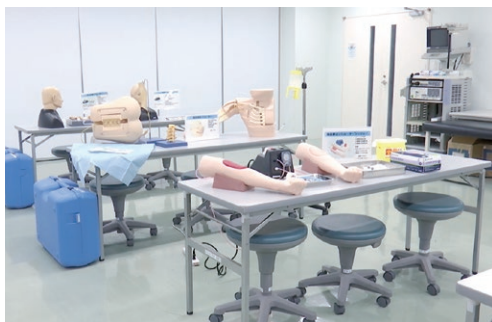
和歌山県立医科大学専門研修プログラムの周知

令和6年和歌山県立医科大学専門研修プログラム冊子を作成・配布、ホームページ上にも掲載し、プログラム内容について初期研修医および関係者を対象に周知を図った。



スキルスラボの充実

選択制臨床実習の期間に本学医学部6年生が地域の病院で行う実習の支援や若手医師が手技等を練習する場所であるスキルスラボの拡充を図った。使用実績は学内4,540件、学外1,110件、合計5,650件。



情報発信と相談への対応

オープンキャンパス

令和6年8月24日(土)に開催された和歌山県立医科大学医学部オープンキャンパスにて「県民医療枠・地域医療枠説明会」を行い、地域枠制度やキャリア形成について説明した。



地域医療学等に係る講義及びグループワークの実施

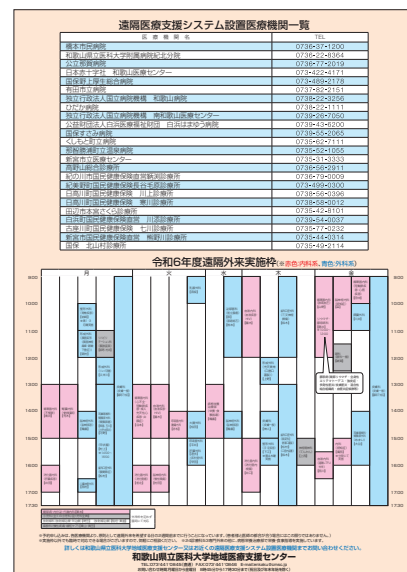
本学医学部2～4年生に対して、地域医療学等の講義を18講義実施した。

また、本学医学部地域医療枠及び県民医療枠1～4年生に対して、講義「地域マインド教育ⅠⅡⅢⅣ」を実施した。



報告書等の作成

地域医療支援センター活動報告書、地域医療支援センターパンフレット、遠隔外来広報チラシ及びポスター等を作成した。



ホームページ・Facebook の運用

地域医療支援センターホームページや Facebook を通じて、随時活動状況を発信した。



医師を目指す方へ

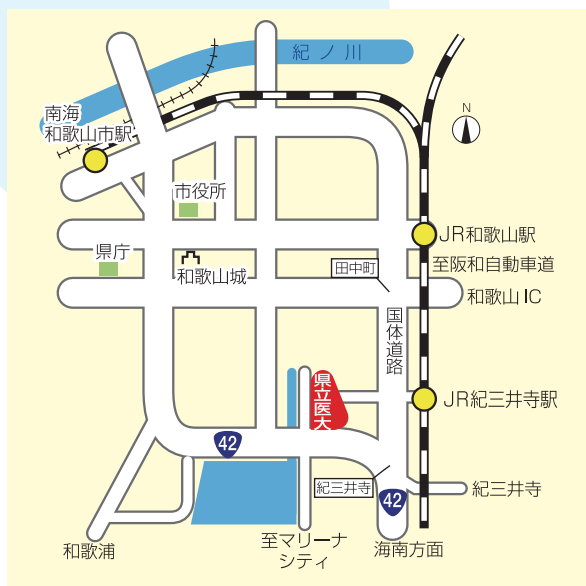
医師になるには	
先輩からのメッセージ	
 地域医療科13期生 三住 晃士 医師を志す皆様へ 和歌山県立医科大学は、臨床・研究・教育のすべての分野で和歌山の医療を支えています。その中でも地域医療科は、医師不足の地域に貢献し、地域住民の健康を守ることを目的とした募集枠です。卒業後は地域の中核病院や診療所で実務を行います。 日本は超高齢社会を迎え、糖尿病や高血圧など複数の基礎疾患を持つ患者が増えています。地域医療では、こうした患者と長期的に関わりながら、生活全体を支える視点が求められます。ただ治療するだけでなく、患者の背景を理解し、寄り添う医療が必要になります。 地域医療科では、在学中から地域医療の現場を体験できる夏季研修を実施しています。また、地域医療に携わる医師による勉強会や交流会も開催され、先輩医師の体験談を聞くことで将来のキャリアを具体的に描くことができます。地域医療に興味がある方は、ぜひ私たちと共に学び、未来の和歌山の医療を支えていきましょう。	
 県民医療科13期生 藤井 里紗 医師を志す皆様へ 県民医療科では、和歌山での地域医療に携わるとともに、医療医学のリーダーとして活躍できるように様々なプログラムが準備されています。一般枠の学生と同じ授業と実習を受けながら、和歌山県内の中核病院への見学や、和歌山県で大規模の被害を被るとされている南海トラフが発生した時の避難などの実習を、高知県や三重県の医学生とともに受けたり、一足先に学会などへの参加など様々な実習を受けることができます。このような実習をすることで地域医療や災害医療のイメージを持つことができ勉強への意欲も高まりました。 また、地域医療科・県民医療科の先輩方とお話しする機会もあり自分の将来の働き方を具体的にイメージすることもできました。 卒業後は大学病院と地域中核病院両方で勤務することにより自分の専門的な知識だけではなく幅広い知識とプライマリアケアも学ぶことができ、医師として成長できると考えています。 将来皆様と和歌山県とともに学び、切磋琢磨できることを楽しみにしております。	

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1

TEL : 073-441-0845 FAX : 073-441-0846

Access Map



- JR紀三井寺駅 → 徒歩(約10分)
- JR和歌山駅 → バス・タクシー
- 南海和歌山市駅 → バス・タクシー



- JR和歌山駅前
1 番のりば「医大病院」行 約25分
2 番のりば「医大病院」行 約30分
- 南海和歌山市駅前
1 番のりば「医大病院」行 約30分
2 番のりば「医大病院」行 約30分
3 番のりば「医大病院」行 約30分

令和 7 年 8 月発行

発 行

和歌山県立医科大学 地域医療支援センター センター長

和歌山県地域医療支援センター センター長

教 授

蒸 野 寿 紀